

③ (財) とよなか国際交流協会

●外国語の絵本コーナーと本との出会いの場の創造

ことばや文化のちがいなどさまざまな問題により、本や図書館との出会いを奪われている日本で暮らす外国人親子が、母語や絵本と出会うために「外国語の絵本コーナー」を新設しました。

8言語以上の外国語の絵本（フィリピン語、タイ語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、英語など）があり、「センター図書（本）案内」（8言語）も作成し、貸出サービスも始めました。

また、市内2か所の図書館で実施している「親子参加型日本語教室おやこでにほんご」、保護者が日本語を勉強している時間に並行して行っている保育活動「多文化子ども保育にここ」、外国につながる子どもたちが母語・母文化を学ぶ活動「子ども母語」の活動内で、絵本（外国語・日本語）を取り入れたプログラムを積極的に行い、家庭以外の場で、子どもたちが本と出会う場をつくっています。



外国語の絵本コーナー



センター図書（本）案内
（*日本語も含めた8言語）



日本語が読めない、母語の絵本がないなどの理由で、家庭での読み聞かせの機会を失っている子どもたちへ、さまざまな活動で絵本の読み聞かせを取り入れている（多文化子ども保育にここ）



子どもたちの手の届くところに絵本を、保護者には外国語の絵本があることを気づいてもらうために作成したブックホルダー

●「外国人おやこのための絵本読み聞かせ講座」

外国人親子に、絵本の楽しさを体験してもらうために、「外国人おやこのための絵本の読み聞かせ講座」を行いました。これは、日本語ができないことで図書館へ行きにくかったり、図書館に自分の望む言語の本や資料がないと考えていたり、また、図書館サービスそのものを知らないなど、さまざまな状況から本にアクセスしづらい環境に置かれている外国人おやこが本と



出会い、図書館を利用するきっかけとなるようにと、岡町図書館ととよなか国際交流協会が企画しました。

外国人親子対象の初の試みであったので、場所は外国人親子が集まりやすい「とよなか国際交流センター」の外国語の絵本コーナーにし、図書館職員による手遊びと、読み聞かせを行いました。参加し



図書館職員さんが、読み聞かせのポイントや、約 6,000 冊の外国語書籍がある「世界の子どもの本の部屋」のお知らせをしてくださいました。

た親子は、中国、韓国、インドネシア、タイ、ブラジルの大人 10 人、子ども 5 人の計 15 人で、最初のうち図書館職員は「日本語でわかるかな…？」と心配していましたが、歩き回っていた子どもたちが真剣に聞き入る姿をみて、話がわからなくても絵本は楽しめるものということを実感できました。

絵本の読み聞かせの後には、やさしい日本語で、外国人保護者へ絵本の読み聞かせのポイントや、市立図書館での本の借り方や岡町図書館の「世界のこどもの本の部屋」の説明がありました。そして、この日は特別に、図書館から 100 冊にも及

ぶ外国語の絵本をもってきてくださり、その場で貸し出しサービスが行われました。ある外国人保護者は、「この本、私が子どもの頃に読んだ絵本よ！」と、とても嬉しそうに子どもにその絵本を借りて帰りました。市立図書館に、外国語の絵本がこんなにもあることを想像もしていなかった外国人保護者たちは、驚きと喜びでいっぱい、24 冊（5 人、日本語 5 冊、その他の言語 19 冊）の貸し出しがありました。



岡町図書館からもってきてくださったたくさんの方の外国語絵本に、外国人保護者たちは「どれを借りてかえろうかな…」と真剣に選書していました。

すべてのプログラムが終了後は、タイの参加者が作ってくれたお菓子を食べながら、日本で子育てをする外国人保護者に、「家ではどんな本（母語・日本語）を読みますか？」「母語の本はどのように入手していますか？」「図書館に行ったことがありますか？」など、読書活動についての聞き取りを行いました。これまで、実際に外国人の方から読書活動について聞く場がなかったので、読み聞かせにしても、誰にどのような状況で読んでもらっているかが異なっていたり、公共図書館や学校図書館といってもイメージしにくい人たちがいることなど、読書環境の違いがわかりました。しかし、共通しているのは、子どもの頃に本を読んでもらった記憶は、だれでも楽しい・幸せな時間だったように感じました。

今後、このような外国人の人たちから直接声を聞く場を積極的に設け、具体的な外国人への読書活動の推進のあり方を、外国人の人たちと一緒に模索していくことが、当事者のニーズにあった多文化サービスの充実につながっていくでしょう。

関連する取り組みの番号 102（絵本講座の開催）

114（外国語資料の整備）



日本でも読み親しまれている絵本の外国語版（中国語・韓国・朝鮮語・タイ語）「はじめてのおつかい」日本語版は福音館書店より出版